

## 裸麦新品種「シラヌイハダカ」について

桐山 毅\*・井手 義人\*・吉富 研一\*・林田 進\*・溝口徳三郎◎  
住江四津男△・渡辺 郁男□・小島 興信●・秋浜 浩三▲

KIRIYAMA, T., IDE, Y., YOSHITOMI, K., HAYASHIDA, S., MIZOGUCHI, T., SUMIE, Y., WATANABE, I., KOZIMA, K. & AKIHAMA, K. On the New Variety of Naked Barley, Shiranuihadaka

1954年本品種の育成を完了し、1955年熊本県において奨励品種に採用されたので、育成の経過並に特性の概要について述べて参考に供する。

1951~54: F<sub>3</sub>~F<sub>12</sub> 九州農業試験場

1951: 西海裸麦3号なる系統名をもつて、種子配布

1954: 裸麦農林12号に登録、シラヌイハダカと命名

## 来歴並に育成経過

1942: (交配) 竹下×一早生 } 農林省農試九州小支  
1943~44: F<sub>1</sub>~F<sub>2</sub> } 試験地  
1945~46: F<sub>3</sub>~F<sub>4</sub> } (福岡縣農試(農林省  
指定試験))  
1947~50: F<sub>5</sub>~F<sub>8</sub> } (農林省熊本農事改良  
実験所)

## 第1表 特性表 (1951~53)

	成熟期	稈長	穂長	50穂cm数	千粒重	粒の大小	品質
シラヌイハダカ	5.20	82	5.8	256	23.5	中	中上
(比較)早生裸	5.14	92	5.9	224	27.0	大	中中
(標準)2号熊島	5.22	86	4.1	225	24.3	中	中下

## 第2表 耐病性その他

項目	赤徴病		萎縮病		小銹病		黒銹病	白澁病	倒伏性
	鹿屋	宮崎	九農試	愛媛	九農試	長崎	九農試	九農試	九農試
シラヌイハダカ	+	±	±	++	++	強	+	+++	強
(比較)早生裸	++	±	±	++	++++	中	++	+	弱
(比較)2号熊島	+	+++	+	+	+++	中	+++	++	稍強

## 第3表 収量

(イ) 九州農試並に熊本縣農試における成績

	九州農試 (1951~53)				熊本農試 (1951~1953)			
	標肥		多肥		標肥		多肥	
	子実重	比率	子実重	比率	子実重	比率	子実重	比率
シラヌイハダカ	101.8	101	115.5	101	77.1	106	80.3	108
(比較)早生裸	87.2	87	105.8	106	—	—	—	—
(標準)2号熊島	100.8	100	114.2	100	74.3	100	75.1	100
(比較)島原	—	—	—	—	67.8	94	72.2	98

(ロ) 関係縣における成績

縣名	福岡		佐賀	長崎	鹿兒島	宮崎	
	本場	豊前	本場	本場	本場	本場	都城
収量	49.7	123.2	72.1	99.4	97.4	73.1	57.7
対標準	95	141	91	111	121	101	93
年次	1952~53	1953	1951 1953	1952~53	1952~53	1951~53	1953

特性概要 シラヌイハダカは2号熊島より早稍い中生種で、稈は中~短程で倒伏には2号熊島より強い。穂は長大で分けつ力が旺盛なため穂数が多い。赤徴病、萎縮病及び小銹病に対しては2号熊島より強く、黒銹病に対しては遙かに強い。但し白澁病には余り強くない。

収量は標準栽培では2号熊島に比べ大差ないが、多肥栽培では多収であつて、熊本県における成績では県内各地で2号熊島より優れた成績を示している。子実の大きさは中位で品質も中位であるが、2号熊島よりは遙かに良質である。

適地 以上の結果より見てシラヌイハダカは九州平坦部の水田稗作及び畑作として適するものと思われる。特に熊本県下においては2号熊島に比し早熟で短程、強靱なるため間作用としても優れており、且つ良質、多収であるので、2号熊島の栽培地帯に相当進出するものと思われる。

\*九州農業試験場 ★熊本縣農業改良課 ◎島根縣農業試験場 △昭和24年8月死亡

□長野種畜牧場 ●福岡縣農業改良課 ▲北陸農業試験場